

2025年度 年間教育計画

所属	大和商業高等専修学校	学科	普通科	コース	総合ビジネス	学年・年次	1年
教 科	科 目	単位数	標準単位数	担当者			
国語	現代の国語	2	2	福島 靖宏・奈良 真都佳			
教科書名		出版社	学習書	学習期間			
新編 現代の国語		東京書籍		通年			
レポートの種類	一般レポート	選択レポート	12・1・6・4・2・10	面接時数	全実施時間数 57時間 標準面接時数2時間		
	報告課題集						
定期試験	年間・学期 5 回	評定算出方法	100点満点の考查点(60%) + 平常点(40%)				
定期試験の評価割合	60%						
指導目標							
・自己の経験を見つめる中で、新しい発見や感動、未来への期待や希望の感じられる時間を作ることを目標に置く。 また、評論分においては文章の構成や展開を把握できるようにし、具体例と論説の関係を捉え、筆者の言いたいことを的確に把握・理解できるようにする。							

月	指導時数	単元・学習内容	レポート指導			試験範囲	備考
			回数	選択番号	提出日		
4	5	・常用漢字表付表の読み書き□ →小テスト実施 ・日本地図を利用して、都道府県名を漢字で正しく書く →あわせて、県庁所在地も覚える	1	12	5月末	①中間	
5	8	「ルリボシカミキリの青」 ・内容を理解し、筆者の主張を読み取る ・筆者の体験を理解する ・自分の興味・関心について考えてみる	2	1	6月末	①中間	
6	8	「真の自立とは」 ・文章の構成や展開を確かめて評論を読み、ひっしゃの主張を読み取る ・筆者の主張を把握し、それに対する自分の意見を考える。	3	6	7月末	①期末	
7	2	1学期の復習、漢字練習					
8		夏休み課題					
9	7	「鍋洗いの日々」 ・文章の内容に関心を持ち、筆者の伝えたいことを理解する ・働くことに対する理解を深める ・筆者の実体験を踏まえて、社会に出ることに対する不安や楽しみを模索する	4	4	10月末	②中間	
10	8	「水の東西」 ・評論とはどういう文章か理解し、本文の構成を捉える ・本文の内容を的確に捉える ・日本文化について考えてみる				②中間	
11	8	「未来をつくる想像力」 ・現代社会における様々な問題点について考察する。 ・想像力を取り戻す方法の考察。	5	2	11月末	②期末	
12	2	2学期の復習、漢字練習					
1～2	9	「原稿用紙の使い方」 ・進路活動に活かすため、正しい使い方を知る 「憧れの職業について調べ、整理してまとめる」 ・自分の希望を人に伝えるための文章の書き方を確認する ・文章のテーマを決め、タブレットを利用して情報を集める ・集めた情報をもとに選択肢を絞る ・選んだ理由などを書き出す ・説得力を持って、自分の考えが伝わるように構成を決め、文章にまとめる(原稿用紙を利用)	6	10	1月末	③学年末	
3		1年間の総復習					

	2	
--	---	--

--	--	--	--	--	--	--	--

2025年度 年間教育計画

所属	大和商業高等専修学校	学科	普通科	コース	総合ビジネス	学年・年次	1年
教科	科目	単位数	標準単位数	担当者			
地理歴史	地理総合	2	2	宇野 潔			
教科書名		出版社	学習書	学習期間			
高等学校 新地理総合		帝国書院	新詳高等地図	通年			
レポートの種類	一般レポート	選択レポート	1, 2, 4, 5, 14, 15	面接時数	全実施時間数 70 時間 標準面接時数 2時間		
	報告課題集						
定期試験	年間・学期 5 回	評定算出方法	100点満点の考查点(60%) + 平常点(40%)				
定期試験の評価割合	60%						
指導目標							
<p>・日常生活の中でみられるさまざまな地図の読図などを基に、地図や地理情報システムの役割や有用性などについて理解する。</p> <p>・現代世界の地域構成を示したさまざまな地図の読図などを基に、方位や時差、日本の位置と領域、国内や国家間の結び付きなどについて理解する。</p> <p>・世界の人々の特色ある生活文化を基に、人々の生活文化が地理的環境から影響を受けたり、影響を与えたりして多様性をもつことや、地理的環境の変化によって変容することなどについて理解する。</p> <p>・世界各地で見られる地球環境問題、資源・エネルギー問題、人口・食料問題及び居住・都市問題などを基に、地球的課題の各地で共通する傾向性や課題相互の関連性などについて大観し理解する。</p> <p>・日本と世界のよりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養う。</p>							

月	指導時数	単元・学習内容	レポート指導			試験範囲	備考	
			回数	選択 番号	提出日			
4	5	第1章 地図と地理情報システム 1節 地球上の位置と時差 1 地球上の位置と私たちの世界 2 時差と私たちの世界 2節 地図の役割と種類 1 地球儀と地図				1学期中間		
5	10	2 身の回りの地図 3 統計地図の種類と利用 4 地図情報システムの活用 第2章 結びつきを深める現代世界 1節 現代世界の国家と領域 1 現代世界の国家 2 日本の位置や領域 2節 グローバル化する世界 1 国家間の結び付き 中間試験	1	1	5月末			
6	8	2 貿易によって結びつく世界 3 さまざまな交通網の発達 4 世界を結ぶ通信網の発達 5 観光のグローバル化 期末試験	2	2	6月末			1学期期末
7	1	1学期の復習						
8								
9	8	第2部 国際理解と国際協力 第1章 生活文化の多様性と国際理解 2節 世界の気候と人々の生活 1 気温・降水と人々の生活 2 大気大循環と人々の生活 3 世界の植生と気候区分 4 熱帯の生活 5 乾燥帯の生活	3	4	9月末	2学期中間		
10	10	6 温帯の生活 7 亜寒帯・寒帯の生活 中間試験 第2章 地球的課題と国際協力 3節 資源・エネルギー問題 1 世界のエネルギー・鉱産資源 2 エネルギー利用の現状と課題 3 地域で異なる人口問題への取り組み	4	5	10月末	2学期期末		
11	9	4節 人口問題 1 世界の人口 2 発展途上国と先進国の人口問題 3 地域で異なる人口問題への取り組み 5節 食糧問題 1 飢餓と飽食 2 地域で異なる食糧問題への取り組み	5	14	11月末			
12	2	期末試験						

1	4	2学期の復習					
1	8	6節 都市・居住問題 1 世界の都市の発達 2 発展途上国と先進国の都市・居住問題 3 地域で異なる都市・居住問題への取り組み 第3ぶ持続可能な地域づくりと私たち 第1章 自然環境と防災 1節 日本の自然環境 1 日本の地形	6	15	1月末		
2	8	2 日本の気候 2節 地震・津波と防災 1 地震・津波による災害 2 地震・津波の被災地の取り組み 学年末試験				3学期期末	
3	1	3学期の復習					

2025年度 年間教育計画

所属	大和商業高等専修学校	学科	普通科	コース	総合ビジネス	学年・年次	1年
教 科	科 目	単位数	標準単位数	担当者			
公民	公共	2	2	外山 浩 永田 幹治			
教科書名		出版社	学習書	学習期間			
公共		東京書籍	特になし	通年			
レポートの種類	一般レポート 報告課題集	選択レポート	1・6・8・14・16・18	面接時数	全実施時間数 70 時間 標準面接時数 2時間		
定期試験	年間・学期 5 回	評定算出方法	100点満点の考查点(60%)+授業点(40%)				
定期試験の評価割合	60%						
指導目標							
現実社会の諸課題の解決に向けて、選択・判断の手がかりとなる考え方や公共的な空間における基本的原理を活用して、事実を基に多面的・多角的に考察し公正に判断したり、合意形成や社会参画を視野に入れながら構想したことを表現している。 よりよい社会の実現に向けて、公共的な空間に生き国民主権を担う公民として、現代の諸課題を主体的に追究し解決しようとしている。							

月	指導時数	単元・学習内容	レポート指導			試験範囲	備考
			回数	選択 番号	提出日		
4	5	第1章 公共的な空間を作る私たち(1)現代社会に生きる青年 1.青年期と自己形成の課題 2.自己形成と社会との参画 (2)社会的な関係の中で生きる人間 1.個人として尊重される人間 2.社会的な存在としての人間 3.伝統・文化の中の人間					
5	8	第3章 公共的な空間における基本的原理 1.公共的な空間における協働とは 2.民主主義とは 3.立憲主義とはとは 4.人権保障の意義と展開 日本国憲法の基本原理 ①・② 日本国憲法の3つの原理 ・基本的人権の保障	1	1	5月末	P.10～13	
6	9	第2部 第1章 民主主義と私たち 1.私たちの民主政治 2.地方自治の仕組みと役割 3.国会の役割と権限	2	6	6月末	P.44～51	
7	2	4.内閣の仕組みと役割 5 政治参加と選挙 6.政党と利益集団 7.メディアと世論					
9	9	第2章法の働きと私たち 法の規範の意義と役割 1.法と社会規範の役割 2.法の成立と費用 市民生活都市法 1.市民生活と法 2.多様な契約 3.消費者の権利と責任 国民の司法参加 1.志保の仕組みと役割 2.刑事司法と司法参加の意義	3	16	9月末	P.168～173	
10	8	第4章 私たちの職業意識 1.働くということ 2.多様な職業選択 労働者の権利と雇用・労働問題 1.労働者の権利 2.現代の雇用・労働問題	4	8	10月末	P.68～71	
11	9	第5章 国際社会の中で生きる私たち 1.国際社会ルールと仕組み	5	14	11月末	P.146～157	
12	4	1.国際社会の成り立ち 2.国際連合の役割 2.国際社会と平和主義 1.日本の平和主義と冷戦 2.冷戦後の世界と日本					
1	7	3.国際平和への課題 1.現代の紛争とその影響 2.平和な社会に向けて 4.グローバル化する国際経済 1.貿易の仕組み 2.国際金融の仕組みと動向	6	18	1月末	P.190～195	
2	7	3.グローバル化と今日の国際経済 4.国際経済の諸課題					
3	2	第3部 持続可能な社会づくりに参画するために 1.探求のイメージをつかもう 2.探求のプロセス					

2025年度 年間教育計画

所属	大和商業高等専修学校	学科	普通科	コース	総合ビジネス	学年・年次	1年
教 科	科 目	単位数	標準単位数	担当者			
数学	ベーシック数学	2	2	友森 達也			
教科書名		出版社	学習書	学習期間			
ベーシック数学		科学技術学園高校	特になし	通年			
レポートの種類	一般レポート	選択レポート	1 2 3 5 6 7	面接時数	全実施時間数 57 時間 標準面接時数 2時間		
	報告課題集						
定期試験	年間・学期 5 回	評定算出方法	100点満点の考查点(60%)+授業点(40%)				
定期試験の評価割合	60%						
指導目標							
①社会に出てから最低限必要な、小中学校で習得した基本的な数学内容の確認、復習、特に計算力の向上に力を入れる。 ②数学的な考え方が深められるよう、教材の工夫、その中で数学の楽しさを伝えたい。							

月	指導時数	単元・学習内容	レポート指導			試験範囲	備考
			回数	選択番号	提出日		
4月	4	第1章 正負の数と文字式 § 1 正負の数 四則計算に習熟させる					
5月	7	§ 2 文字の決まり 式の値の確認 § 3 分配法則 第2章 文字式 文字を使った式づくり § 1 一次方程式の理解	1	1	5月下旬	P1～14	
6月	7	§ 2 連立方程式 計算方法に習熟 第3章 § 1比例 § 2反比例 関数の意味 理解をはかる、	2	2	6月下旬	P15～24	
7月	1	1学期の復習					
8月	0	夏休み課題					
9月	5	第4章 一次関数 事象の中から一次関数を見い出す 第5章 三角形と平行 § 1三角形 角の問題にとり組む	3	3	9月下旬		
10月	8	§ 2 平行線 錯角と同位角の理解 第6章 円周角 円周角の定理の理解	4	5	10月下旬	P25～29	
11月	7	第7章 多項式 § 1 分配法則 § 2 乗法公式 § 3 因数分解 公式を理解し、それを用いて計算できるようにする	5	6	11月下旬		
12月	1	2学期の復習				P30～36	
1月	5	第8章 平方根と2次方程式 § 1 平方根 平方根の意味の理解 § 2 2次方程式 解き方の理解	6	7	1月下旬		
2月	6	第10章 § 1 相似な図形 § 2 三平方の定理 図形の楽しさを味わうようにする				P37～42	
3月		1年間のまとめ					

2025年度

年間教育計画

所属	大和商業高等専修学校	学科	普通科	コース	総合ビジネス	学年・年次	1
教 科	科 目	単位数	標準単位数	担当者			
理科	科学と人間生活	2	2	田島 久美子			
教科書名		出版社	学習書	学習期間			
科学と人間生活		第一学習社	なし	通年			
レポートの種類	一般レポート	選択レポート	2 5 6 8 11 14	面接時数	全実施時間数 70 時間		
	報告課題集				標準面接時数 8時間		
定期試験	年間・学期 5 回	評定算出方法	100点満点の考查点(60%)+提出物点・授業点(40%)				
定期試験の評価割合	60%						
指導目標							
・知識の定着のみではなく、科学的思考力を養う。 ・授業内容と自身の生活で体験できる事象のつながりを理解させる。							

月	指導時数	単元・学習内容	レポート指導			試験範囲	備考
			回数	選択番号	提出日		
4	2	第Ⅰ章 物質の科学 ・物質の分類 ・物質のなりたち				1学期 中間	
5	10	第1節 材料とその利用 ・金属と人間生活 ・金属とその製錬 ・金属のさびと合金	1	2	5月下旬		
6	8	第2節 衣類と食料 ・食品中のおもな栄養 ・炭水化物 ・タンパク質 ・脂質 ・その他の栄養素	2	5	6月下旬	1学期 期末	
7	7	・生物の共通性 ・生物の多様性 第Ⅱ章 生命の科学 第1節 ヒトの生命現象 ・タンパク質のはたらきと構造 ・遺伝子とDNA ・タンパク質の合成	3	6	7月下旬		
8	2	1学期まとめ 夏休み課題					
9	7	・病原体の排除 ・二次応答 第2節 微生物とその利用 ・身近な微生物 ・微生物の発見 ・生態系内の微生物 ・微生物の利用	4	8	9月下旬	2学期 中間	
10	9		5	11	10月下旬		
11	9	第Ⅲ章 熱や光の科学 第1節 熱の性質とその利用 ・エネルギー ・温度と熱運動 ・熱容量と比熱 ・熱の伝わり方 ・仕事や電流と熱の発生 ・エネルギーの移り変わり ・エネルギー資源の活用	6	14	11月下旬	2学期 期末	
12	2	2学期の復習 冬休み課題					
1	6	第Ⅳ章 地球や宇宙の科学 第2節 太陽と地球 第1節 自然景観と自然災害 ・活動する地球 ・日本列島のなりたち ・火山活動と地表の変化 ・火山災害と防災 ・地震活動と地表の変化 ・地震災害と防災 ・水のはたらきと地表の変化 第2節 太陽系と惑星 ・太陽系の構造と惑星 ・太陽と太陽系 ・太陽系を構成する天体				学年末	
2	6	第2節 太陽系と惑星 ・太陽系の構造と惑星 ・太陽と太陽系 ・太陽系を構成する天体					
3	2	3学期の復習 春休み課題					

| | |

| | | L |

2025年度 年間教育計画

所属	大和商業高等専修学校	学科	普通科	コース	総合ビジネス	学年・年次	1
教 科	科 目	単位数	標準単位数	担当者			
保健体育	体育	3	7	石川 浩章 ・ 吉田 節子			
教科書名		出版社	学習書	学習期間			
現代高等保健体育		大修館書店	なし	通年			
レポートの種類	一般レポート	選択レポート	①②③	面接時数	全実施時間数 80 時間		
	報告課題集				標準面接時数 15 時間		
定期試験	年間・学期 5 回	評定算出方法	100点満点の考查点(60%)+授業点(40%)				
定期試験の評価割合	60%						
指導目標							
・各種目を通して身体を動かし、楽しく筋力や持久力を身に付け、健康的な身体をつくる。 ・チームで協力して1つのことを取り組むことにより、協調性を学ばせ、社会に適用できる人間性を身に付けさせる。 ・運動の実践を通して、知識や技能を高めるとともに人間関係を深めさせる。							

月	指導時数	単元・学習内容	レポート指導			試験範囲	備考
			回数	選択番号	提出日		
4	5	体づくり運動 体育理論 ・運動を通して、自己の体に関心を持ち、自分や仲間の体の状態に気付くことができる。 ・体育を学習する意味を理解し、学習意欲を高める。 ・身体の様々な部位を動かすことで心地よさや楽しさを理解させる。					
5	9	球技Ⅰ：バスケットボール 球技Ⅱ バレーボール ・チームにおける自分の役割を自覚して行動し、責任を果たし、協力して教え合ったり助け合ったりしながら、楽しんで練習やゲームができる。 ・勝敗に対して公正な態度をとることができる。 ・安全を確かめ、危険なプレーをしないなど、健康・安全に留意して授業に取り組む。 ・種目の特性を理解し、個人やチームの能力を把握する。				球技Ⅰ	
6	8	・ゲームなどを通して、その種目の楽しさを味わいながら、個人やチームの課題を設定し、その解決に向けての練習を工夫する。 ・個人やチームの能力に応じて作戦を立て、持っている能力を最大限活用してゲームを行う。 ・ゲームの企画や運営、審判を行う。	1	①	6月下旬	球技Ⅱ	
7	2	1学期のまとめ					
8							
9	12	体づくり運動 体育理論 球技Ⅲ：サッカー、フットサル 球技Ⅳ：バドミントン、卓球 ・個人的技能や集団的スキルを高め、自分やチームの能力に応じたゲームができる。 ・チームにおける自分の役割を自覚して行動し、責任を果たし、協力して教え合ったり助け合ったりしながら、楽しんで練習やゲームができる。 ・勝敗に対して公正な態度をとることができる。 ・安全を確かめ、危険なプレーをしないなど、健康・安全に留意して授業に取り組む。 ・種目の特性を理解し、個人やチームの能力を把握する。					
10	10	・ゲームなどを通して、その種目の楽しさを味わいながら、個人やチームの課題を設定し、その解決に向けての練習を工夫する。 ・個人やチームの能力に応じて作戦を立て、持っている能力を最大限活用してゲームを行う。 ・ゲームの企画や運営、審判を行う。	2	②	10月下旬	球技Ⅲ	
11	12	2学期まとめ	3	③	11月下旬		
12	3					球技Ⅳ	
1	10	球技Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳから選択 ・個人的技能や集団的スキルを高め、自分やチームの能力に応じたゲームができる。 ・チームにおける自分の役割を自覚して行動し、責任を果たし、協力して教え合ったり助け合ったりしながら、楽しんで練習やゲームができる。 ・勝敗に対して公正な態度をとることができる。 ・安全を確かめ、危険なプレーをしないなど、健康・安全に留意して授業に取り組む。 ・種目の特性を理解し、個人やチームの能力を把握する。					
2	8	・ゲームなどを通して、その種目の楽しさを味わいながら、個人やチームの課題を設定し、その解決に向けての練習を工夫する。 ・個人やチームの能力に応じて作戦を立て、持っている能力を最大限活用してゲームを行う。 ・ゲームの企画や運営、審判を行う。				球技Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳから選択	
3	1						

2025年度 年間教育計画

所属	大和商業高等専修学校	学科	普通科	コース	総合ビジネス	学年・年次	1
教 科	科 目	単位数	標準単位数	担当者			
外国語	英語コミュニケーションⅠ	2	3	才木 奎佑			
教科書名		出版社	学習書	学習期間			
All Aboard! English CommunicationⅠ		東京書籍		通年			
レポートの種類	一般レポート	選択レポート	41,43,45,47,34,49	面接時数	全実施時間数 70時間		
	報告課題集				標準面接時数 8時間		
定期試験	年間・学期 5回	評定算出方法	100点満点の考查点(60%)+授業点(40%)				
定期試験の評価割合	60%						
指導目標							
日常的・社会的な話題について、多くの支援を活用すれば、 1. 必要な情報を聞き取り、話し手の意図を把握したり、概要や要点を目的に応じて捉えたりすることができる。 2. 必要な情報を読み取り、書き手の意図を把握したり、概要や要点を目的に応じて捉えたりすることができる。 3. 基本的な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを話して伝え合うやり取りを続けたり、論理性に注意して話して伝え合ったりすることができる。 4. 基本的な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを論理性に注意して話して伝えることができる。 5. 基本的な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを論理性に注意して文章を書いて伝えることができる。							

月	指導時数	単元・学習内容	レポート指導			試験範囲	備考
			回数	選択番号	提出日		
4	4	warm-up1～3 「アルファベット」「教室で使う英会話」「疑問詞」について学ぶ				1学期 中間	
5	9	pre-lesson1・2 「be動詞」「一般動詞」「英文の仕組み」について学ぶ		41	5月下旬		
6	9	lesson2 「現在進行形」「過去進行形」について学ぶ	1	43	6月下旬	1学期 期末	
7	2	1学期の復習	2				
8							
9	9	Lesson3 助動詞について学ぶ 種類・文書の作成方法について学ぶ	3	45	9月下旬	2学期 中間	
10	10	Lesson4 to不定詞を使った文の用法では名詞的用法・副詞的用法・形容詞的用法などがあり文章上の役割が異なることを確認させ、文を作成できるようにする	4	47	10月下旬		
11	10		5	34	11月下旬	2学期 期末	
12	2	2学期の復習					
1	7	Lesson5 動名詞の文章の作成方法を学び、不定詞の名詞的用法の文章の作成の復習もさせる	6	49	1月下旬	学年末	
2	7						
3	1	1年間の総まとめ					



2025年度 年間教育計画

所属	大和商業高等専修学校	学科	普通科	コース	総合ビジネス	学年・年次	1
教 科	科 目	単位数	標準単位数	担当者			
情報	情報Ⅰ	2	2	鈴木 勇也			
教科書名		出版社	学習書	学習期間			
新編 情報Ⅰ		東京書籍	なし	通年			
レポートの種類	一般レポート	選択レポート	1, 2, 3, 4	面接時数	全実施時間数 70 時間		
	報告課題集				標準面接時数 8時間		
定期試験	年間・学期 5回	評定算出方法	試験成績60点、平常点40点を満点とした総合成績に基づき、単位認定基準で定める得点区分に従って算出する。				
定期試験の評価割合	60%						
指導目標							
<p>情報に関する科学的な見方・考え方を働かせ、情報技術を活用して問題の発見・解決に向けて情報と情報技術を適切かつ効果的に活用し、情報社会に主体的に参画するための資質・能力を養う。</p> <p>①効果的なコミュニケーションの実現、コンピュータやデータの活用について理解し、技能を身につけているとともに、情報社会と人との関わりについて理解している。</p> <p>②事象を情報とその結び付きの視点から捉え、問題の発見・解決に向けて情報と情報技術を適切かつ効果的に用いている。</p> <p>③情報社会との関わりについて考えながら、問題の発見・解決に向けて主体的に情報と情報技術を活用し、自ら評価し改善しようとしている。</p>							

月	指導時数	単元・学習内容	レポート指導			試験範囲	備考
			回数	選択番号	提出日		
4	2	1章 情報で問題を解決する 1. 情報とメディアの特性 2. 問題解決の流れ 3. 発想法 4. 情報モラル				1学期 中間	
5	10	1章 情報で問題を解決する 5. 個人情報の流出 6. 傷つかない傷つけないために 7. 著作権 8. 情報技術の発展 9. 情報化とわたしたちの生活の変化 10. よりよい情報社会へ 章末問題	1	1	5月下旬		
6	8	2章 情報を伝える 11. コミュニケーション手段の変化 12. ネットコミュニケーションの特徴 13. デジタルの世界へ 14. 数値と文字のデジタル表現 15. 音と画像のデジタル表現 16. 色と動画のデジタル表現 17. 目的に応じたデジタル化 18. 情報デザイン	2	2	6月下旬	1学期 期末	
7	7	2章 情報を伝える 19. ユニバーサルデザイン 20. 情報デザインの流れ 章末問題					
8	2						
9	7	3章 コンピュータを活用する 21. コンピュータとは何か 22. ソフトウェアの仕組み 23. 演算の仕組みとコンピュータの限界 24. アルゴリズムの表現				2学期 中間	
10	9	3章 コンピュータを活用する 25. プログラムの基本構造1 26. プログラムの基本構造2 27. 発展的なプログラム1 28. 発展的なプログラム2 29.モデル化とシミュレーション 30.シミュレーションの活用 章末問題	3	3	10月下旬		
11	9	4章 データを活用する 31. ネットワークとインターネット 32. インターネットの仕組み 33. サーバとクライアント 34. インターネット上のサービス 35.情報セキュリティ 36.データの形式 37.データベースの活用 38.さまざまなデータモデル 39.データ分析の流れ 40.目的に合わせたデータの活用	4	4	11月下旬	2学期 期末	
12	2	4章 データを活用する 章末問題					
1	6	5章 活動して提案する 41.アイデアの大量生産 42.検索のコツ 43.職業人のインタビュー 44.作ろう！マイルール 45.言葉で図形を伝達				学年末	
2	6	5章 活動して提案する 46.光の三原色体験 47.データ量の見積もり 48.ピクトグラム 49.図解表現					
3	2	1年間の総まとめ					



2025年度 学習指導計画(連携科目)

所 属	大和商業高等専修学校						
学 科	普通科		コース	総合ビジネス		学年・年次	1
科目名	簿記	単位数	3	教科書	簿記	出版社	TAC

月	指 導 内 容		指導時数	試 験	備 考
	ページ	項 目・内 容	105h		
4	2～12	第1章 簿記の基礎 1 簿記とは 2 簿記の目的 3 簿記の歴史 4 簿記の前提条件 第2章 資産・負債・純資産と貸借対照表 1 簿記の5要素 2 資産とは 3 負債とは 4 純資産とは 5 貸借対照表 6 当期純利益を計算する方法	7		
5	16～32	第3章 収益・費用と損益計算書 1 収益とは 2 費用とは 3 当期純利益を計算する方法 4 損益計算書 第4章 取引と勘定 1 簿記上の取引 2 勘定 3 勘定記入の法則 4 取引の2面性 5 貸借平均の原則	13	5月26日 ～ 5月29日	
6	36～54	第5章 仕訳と転記 1 仕訳 2 転記 第6章 仕訳帳と総勘定元帳 1 帳簿への記帳 2 仕訳帳への記入 3 総勘定元帳への転記 4 残高式の総勘定元帳への記帳 第7章 試算表の作成	12	6月23日 ～ 6月27日	
7	56～57	第7章 精算表 1 精算表 2 6桁精算表の記入方法	4		
8					
9	62～81	第9章 決算 1 決算とは 2 決算の手続き 3 決算の本手続き 4 決算報告書 第10章 会計帳簿 1 主要簿と補助簿 2 分課制度と帳簿組織	15		
10	84～104	第11章 現金と預金の取引 1 現金 2 現金出納帳 3 現金過不足の処理 4 当座預金 5 当座借越 6 当座預金出納帳 7 その他の預金 8 小口現金 9 小口現金出納帳	13	10月14日 ～ 10月17日	
11	111～133	第12章 商品売買の取引 1 3分法 2 仕入帳 3 売上帳 4 商品有高帳 第13章 掛け取引 1 掛けによる売買 2 売掛金と売掛金元帳 3 買掛金と買掛金元帳 4 貸倒	15		検定試験 受験
12	136～144	第14章 手形 1 手形の種類 2 約束手形 3 約束手形の処理 4 手形の裏書 5 手形の割引 6 受取手形記入帳と支払手形記入帳	2	12月1日 ～ 12月5日	
1	149～171	第15章 有価証券 1 有価証券 2 有価証券の購入 3 有価証券の売却 第16章 1 貸付金と借入金 2 手形貸付金と手形借入金 3 前払金と前受金 4 未収金と未払金 5 立替金と預り金 6 仮払金と仮受金 7 受取商品券	10		
2	179～186	第17章 固定資産の取引 1 固定資産 2 固定資産の購入 3 固定資産の売却 4 固定資産台帳 第18章 販売費および一般管理費 1 販売費および一般管理費とは 2 販売費および一般管理費の記帳方法	12	2月16日 ～ 2月20日	検定試験 受験
3		1年間の総まとめ	2		

《留意事項》

2025年度 学習指導計画(連携科目)

所 属	大和商業高等専修学校						
学 科	普通科	コース	総合ビジネス			学年・年次	1学年
科目名	ビジネス基礎	単位数	2	教科書	ビジネス基礎	出版社	東京法令出版

月	指 導 内 容		指導時数	試 験	備 考
	ページ	項 目・内 容	70h		
4	P.2～6	第1章 商業の学習とビジネス 第1節 商業を学ぶ目的と学び方 1. 商業を学ぶ重要性 2. 商業の学習で身に着けたい力 3. 商業の学び方 4. 商業の学習分野と職業	4		
5	P.8～22	第2節 ビジネスの役割 1. ビジネスと企業の社会的責任 2. ビジネスの発展と諸活動 第3節 ビジネス動向と課題 1. 経済環境の変化とビジネス 2. ビジネスの課題 第2章 ビジネスに対する心構え 第1節 信頼関係の構築 1. 望ましい信頼関係を構築することの意義	10	5月26日 ～ 5月29日	
6	P.26～52	第2章 ビジネスマナーの意義と必要性 3. ホスピタリティ 第2節 良好な人間関係とコミュニケーション 1. 良好な人間関係とコミュニケーション 2. 企業内外のコミュニケーション 第3節 情報の入手と活用 1. 情報収集の方法 2. 情報収集の留意点 3. インターネットからの情報収集 4. 情報の分析 5. 情報の伝達 6. 情報の保管	9	6月23日 ～ 6月27日	
7			1		
8					
9	P.55～70	第3章 経済と流通 第1節 経済の基本概念 1. 経済生活と経済のしくみ 2. 市場と価格 第2節 流通の意義と役割 1. 商業の成立と発展 2. 商品流通の意義 3. 流通の機能4. 流通機能の担当者 5. 商品の種類 6. 商品の流通経路 7. 今日の流通	10		
10	P.72～86	第3節 ビジネスの諸活動 1. メーカーのビジネス活動 2. 物流業者のビジネス活動 3. ビジネスの課題 4. 物流システム 5. 金融機関のビジネス活動 6. 保険業者のビジネス活動 7. 情報通信業者のビジネス活動 8. サービス業者のビジネス活動 9. 小売業者のビジネス活動	10	10月14日 ～ 10月17日	
11	P.92～96	10. 一般小売店 11. 百貨店 12. 総合スーパー 13. スーパーマーケット 14. 専門店 15. ホームセンター 16. ドラッグストア 17. コンビニエンスストア 17. ディスカウントストア	10		
12		2学期のまとめ	1	12月1日 ～ 12月5日	
1	P.98～108	19. 小売商の組織化 20. 集団立地 21. 無店舗小売商 22. 卸売業者のビジネス 23. 中央卸売市場 応用の内容 トレード・オフと機会費用	7		
2	P. 98～101	第4章 企業活動 第1節 企業の形態と組織 1. 経営理念 2. 企業の出資者 3. 企業の種類 4. 企業の組織 第2節 企業のマーケティング活動 1. マーケティングの重要性 2. マーケティングの流れ	7	2月16日 ～ 2月20日	
3			1		

《留意事項》

2025年度 学習指導計画(連携科目)

所 属	大和商業高等専修学校						
学 科	普通科		コース	総合ビジネス		学年・年次	1
科目名	ソフトウェア活用	単位数	2	教科書	日本語ワープロ検定試験 模擬問題集3・4級	出版社	日本情報処理検定協会

月	指 導 内 容		指導時数	試 験	備 考
	ページ	項 目・内 容	70h		
4		・身近な事をもとにビジネスにおけるソフトウェア活用を考え、どんな時に役 立つか考えさせる (「なぜ」「なんのために」ソフトウェアを活用するのかを分からせる)	5		
5	P26 ～ P30 ・ P58 ～ P67	・日本語をローマ字に正しく直す ・キーボード上の指の位置を理解させる ・パソコンの起動と終了 ・画面構成 ・文字の入力と訂正 ・文書の保存方法・印刷方法 ・特殊な入力方法 ・文章の入力	9	5月26日 ～ 5月29日	
6		・編集機能 (1)右揃え (2)下線 (3)中央揃え (4)箇条書きの入力 (5)フォント、フォントサイズの変更	8	6月23日 ～ 6月27日	
7		・速度文、文書作成(4級問題)	1		
8					
9	P32 ～ P56 ・ P70 ～ P94	・ハードウェア・ソフトウェアについて学ぶ	10		
10		・行、列の挿入 ・編集機能2 (1)均等割付 (2)文字の網掛け	10	10月14日 ～ 10月17日	
11		・速度文、文書作成 (3級検定問題)	8		
12			3	12月1日 ～ 12月5日	
1		・データの保護やセキュリティ管理について学ぶ (情報の保護のためのリスクを適切に管理する方法について理解する) (準2級検定問題)	7		
2		・速度 ・セル結合 ・セルの網掛け ・文章配置を覚える ・セルの下線の種類の変更	7	2月16日 ～ 2月20日	
3		3学期の復習	2		

《留意事項》

2025年度 学習指導計画(連携科目)

所 属	大和商業高等専修学校						
学 科	普通科		コース	総合ビジネス		学年・年次	1
科目名	課題研究	単位数	1	教科書	基礎計算ドリル・国語基礎学習テキスト		出版社

月	指 導 内 容		指導時数	試 験	備 考
	ページ	項 目・内 容	35h		
4	P1 ～ P29	基本的な計算・国語力を身につける。 ・ドリルやテキストで学習する。 ・学習してきた範囲を確認するため小テストを行う。 ・自作の時事問題を学習させ確認の小テストを行う。 ・できていないところに関しては繰り返し学習することでステップアップしていく。 '地理や経済の知識を身につける。 ・デジタル教材を利用して、日本全国の観光名所や物産などを学ぶ。	2		
5			4		
6			4	期末考査 6月23日 ～ 6月27日	
7			1		
8					
9	P1 ～ P29	基本的な計算・国語力を身につける。 ・ドリルやテキストで学習する。 ・学習してきた範囲を確認するため小テストを行う。 ・自作の時事問題を学習させ確認の小テストを行う。 ・できていないところに関しては繰り返し学習することでステップアップしていく。	5		
10			4		
11			5		
12			1	期末考査 12月1日 ～ 12月5日	
1	復習	基本的な計算・国語力を身につける。 ・ドリルやテキストで学習する。 ・学習してきた範囲を確認するため小テストを行う。 ・自作の時事問題を学習させ確認の小テストを行う。 ・できていないところに関しては繰り返し学習することでステップアップしていく。	4		
2			4	期末考査 2月16日 ～ 2月20日	
3			1		

《留意事項》

2025年度 学習指導計画(連携科目)

所 属	大和商業高等専修学校						
学 科	普通科		コース	総合ビジネス		学年・年次	1学年
科目名	情報処理	単位数	2	教科書 副教材	情報処理 表計算模擬問題集3・4級編	出版社	東京法令出版 日本情報処理検定協会
月	指 導 内 容				指導時数	試 験	備 考
	ページ	項 目・内 容			70h		
4		・パソコンの起動、シャットダウンの仕方 ・画面構成、Excelシートの扱い方 ・マウスの操作 ・ファイルの保存と呼び出し ・データの入力			4		
5		・ファイルの管理 ・行、列の削除・挿入・移動 ・印刷の仕方 ・1学期中間考査			10	5月26日 ～ 5月29日	
6		・SUM関数、AVERAGE関数 ・オートフィル、ドラッグの使い方 ・列幅や行の高さの変更 ・表示形式の変更			9	6月23日 ～ 6月27日	
7		・1学期期末考査			1		
8							
9		・セルの結合 ・文字の位置の変更 ・便利なデータ入力の方法 ・MAX関数、MIN関数、COUNT関数			10		
10		・ROUND関数、ROUNDUP関数、ROUNDDOWN関数 ・IF関数、RANK関数 ・相対参照と絶対参照 ・並び替え ・2学期中間考査			10	10月14日 ～ 10月17日	検定試験 3級受験
11		・ROUND関数、ROUNDUP関数、ROUNDDOWN関数 ・IF関数、RANK関数 ・相対参照と絶対参照 ・並び替え ・2学期中間考査			10		
12		・2学期期末考査			1	12月1日 ～ 12月5日	検定試験 受験予定
1		・グラフの基本 ・棒グラフの作成 ・折れ線グラフの作成 ・円グラフの作成			7		
2		・グラフの基本 ・棒グラフの作成 ・折れ線グラフの作成 ・円グラフの作成			7	2月16日 ～ 2月20日	検定試験 受験予定
3		・演習と復習			1		

《留意事項》

パソコン操作の能力に差があるので、初歩の生徒が2月に3級を合格出来るように指導をする。また、上級を受ける生徒の為の補講なども随時実施をしたいと考えている。

2025年度 学習指導計画(連携科目)

所 属	大和商業高等専修学校						
学 科	普通科		コース	総合ビジネス		学年・年次	1
科目名	総合的な探究の時間	単位数	1	教科書		出版社	
月	指 導 内 容				指導時数	試 験	備 考
	ページ	項 目・内 容			35h		
4		身の回りにある職業と、自身の適性を知ろう。 ・「キャリアガーデン」を使って社会にある職業について知識を深める。 ・自己分析を行って自分の長所・短所を理解する。 ・上級学校の見学を行い、将来の進路の展望を考える。			2		
5					4		
6					4		
7					1		
8							
9		学歴別の生涯年収を理解して、後悔無い進路活動ができるようにしよう。 ・ロールプレイを通じて生涯年収のシミュレーションを行う。 ・体験型ガイダンスを通じて、上級学校で学ぶ自分をイメージする。 ・小論文の書き方について学び、客観的かつ説得力ある文章を書けるようにする。			5		
10					4		
11					5		
12					1		
1		次年度の所属コースを選択する。 ・校外ガイダンスを通じて、自分の興味のある上級学校を比較検討する。 ・就職を希望する生徒は、職種・業種の違いを意識して進路選択ができるようにする。 ・次年度の所属コースを決定し、高校での学習により意欲的に取り組めるようにする。			4		
2					4		
3					1		

《留意事項》

2025年度 年間教育計画

所属	大和商業高等専修学校	学科	普通	コース	総合ビジネス	学年・年次	2年
教 科	科 目	単位数	標準単位数	担当者			
国語	言語文化	2	2	奈良 真都佳			
教科書名		出版社	学習書	学習期間			
新編言語文化		東京書籍	なし	1年			
レポートの種類	一般レポート	選択レポート	1・8・9・7・6・5	面接時数	全実施時間数68時間 標準面接時数 2時間		
	報告課題集						
定期試験	年間・学期 5回	評定算出方法	100点満点の考查点(60%)+授業点(40%)				
定期試験の評価割合	60%						
指導目標							
・現代文・古文・漢文の基礎を学び、日本語の美しさや不思議さを感じ取らせ、自ら考えさせる力を養う。 ・「問題の意図」を意識しつつ読み解くことで、「読解」の有用性を知る。							

月	指導時数	単元・学習内容	レポート指導			試験範囲	備考
			回数	選択番号	提出日		
4	6	◎漢字の基本 ・漢字ワークを用い、漢検4・5級レベルの復習 →小テスト実施				①中間	
5	10	◎P24～「とんかつ」 ・小説を読む楽しさや意義について理解する ・小説の構成・展開の特色をとらえ、主題をまとめる	1	1	5月末	①中間	
6	10	◎P118～「古文に親しむ」 ・古文学習の意義を理解する。 →代表的な古文作品に触れることで、文学史の歴史的位置づけの確認をする	2	8	6月末	①期末	
7	4	1学期の総復習					
8		夏休み課題					
9 10上	10	◎P122～「宇治拾遺物語」 ・歴史的仮名遣いについて理解できる。 ・児の気持ちの変化を整理し、最後の描写の意味について考える。 ・宇治拾遺物語について知る。 ・「古文学習のしるべ」を用いながら、活用形が理解できるようにする。	3	9	9月末	②中間	
10	8	◎107「デューク」 ・現代文の小説を読むことで登場人物の心理描写を明確にさせる。 ・文章の構成や展開、表現の仕方や特色について知る。 ・主人公の心情の変化を読み取り、理解する。	4	7	10月末	②中間	
11		◎P72～「羅生門」 ・下人、老婆の心情や情景などを読み取り、その変化に気づく ・極限状態に置かれた人間の行動について考察し、自分なりの考えをまとめることができるようにする	5	6	11月末	②期末	
12	4	2学期の復習、漢字練習					
1～2	12	「漢文」訓読の基本から復習し、書き下し文ができるようにする。 ・返読文字、置き字、再読文字に注意。 「故事成語」 ・『守株』、『五十歩百歩』、『借虎威』を用いて、意味や時代背景を理解する ・故事成語が今なお我々の生き方を考える言葉であることを理解する。	6	5	1月末	③学年末	
3	4	1年間の総復習、漢字練習					

2025年度 年間教育計画

所属	大和商業高等専修学校	学科	普通科	コース	総合ビジネス	学年・年次	2
教 科	科 目	単位数	標準単位数		担当者		
数学	数学Ⅰ	2	2		橘川 慶太郎		
教科書名		出版社	学習書		学習期間		
数学Ⅰ Standard		東京書籍	なし		1年		
レポートの種類	一般レポート	選択レポート	1 2 3 5 6 7		面接時数	全実施時間数 70 時間	
	報告課題集					標準面接時数 2 時間	
定期試験	(年間)・学期 5 回	評定算出方法	100点満点の考查点(60%)+授業点(40%)				
定期試験の評価割合	60%						
指導目標							
・基礎的、基本的な知識及び技能を確実に習得し、これらを活用して問題を解決するために必要な数学的な考え方を身につける。 ・数学の良さを知り、数学と社会との関連について理解を深め、数学に対しての興味、関心を高める。							

月	指導時数	単元・学習内容	レポート指導			試験範囲	備考
			回数	選択番号	提出日		
4	4	1章 数と式 1節 式の計算 ・展開				1学期中間	
5	7	1章 数と式 1節 式の計算 ・展開 ・因数分解	1	1	5月下旬		
6	7	2節 実数 ・実数 ・根号を含む計算	2	2	6月下旬	1学期期末	
7	1						
8	0	夏休み課題					
9	5	2節 実数 ・根号を含む計算 3節 1次不等式 ・不等式と1次不等式	3	3	9月下旬	2学期中間	
10	8	3節 1次不等式 ・不等式と1次不等式 ・不等式の応用	4	5	10月下旬		
11	7	3節 1次不等式 ・不等式の応用	5	6	11月下旬	2学期期末	
12	1	2学期の復習 冬休み課題					
1	5	2節 命題と論証 ・命題と条件	6	7	1月下旬	3学期期末	
2	6	2節 命題と論証 ・論証					
3	1	3学期の復習					

| | |

| | | | | |

2025年度 年間教育計画

所属	大和商業高等専修学校	学科	普通科	コース	総合ビジネス	学年・年次	2
教 科	科 目	単位数	標準単位数	担当者			
保健体育	体育	2	2	石川 浩章			
教科書名		出版社	学習書	学習期間			
現代高等保健体育		大修館書店		通年			
レポートの種類	一般レポート	選択レポート	④、⑤	面接時数	全実施時間数 57 時間 標準面接時数 10時間		
	報告課題集						
定期試験	(年間)・学期 5 回	評定算出方法	100点満点の考查点(60%)+意欲・協調性(40%)				
定期試験の評価割合	60%						
指導目標							
・各種目を通して身体を動かし、楽しく筋力や持久力を身に付け、健康的な身体をつくる。 ・チームで協力して1つのことを取り組むことにより、協調性を学ばせ、社会に適用できる人間性を身に付けさせる。 ・運動の実践を通して、知識や技能を高めるとともに人間関係を深めさせる。							

月	指導時数	単元・学習内容	レポート指導			試験範囲	備考
			回数	選択番号	提出日		
4	4	体づくり運動 体育理論 ・運動を通して、自己の体に関心を持ち、自分や仲間の体の状態に気付くことができる。 ・体育を学習する意味を理解し、学習意欲を高める。 ・身体の様々な部位を動かすことで心地よさや楽しさを理解させる。					
5	6	球技Ⅰ：バスケットボール 球技Ⅱ バレーボール ・チームにおける自分の役割を自覚して行動し、責任を果たし、協力して教え合ったり助け合ったりしながら、楽しんで練習やゲームができる。 ・勝敗に対して公正な態度をとることができる。 ・安全を確かめ、危険なプレーをしないなど、健康・安全に留意して授業に取り組む。 ・種目の特性を理解し、個人やチームの能力を把握する。 ・ゲームなどを通して、その種目の楽しさを味わいながら、個人やチームの課題を設定し、その解決に向けての練習を工夫する。 ・個人やチームの能力に応じて作戦を立て、持っている能力を最大限活用してゲームを行う。 ・ゲームの企画や運営、審判を行う。				球技Ⅰ	
6	7		①	④	6月下旬	球技Ⅱ	
7	1	1学期のまとめ					
8							
9	8	体づくり運動 体育理論 球技Ⅲ：バドミントン、卓球 球技Ⅳ：サッカー、フットサル					
10	8	・個人的技能や集団的技能を高め、自分やチームの能力に応じたゲームができる。 ・チームにおける自分の役割を自覚して行動し、責任を果たし、協力して教え合ったり助け合ったりしながら、楽しんで練習やゲームができる。 ・勝敗に対して公正な態度をとることができる。 ・安全を確かめ、危険なプレーをしないなど、健康・安全に留意して授業に取り組む。 ・種目の特性を理解し、個人やチームの能力を把握する。 ・ゲームなどを通して、その種目の楽しさを味わいながら、個人やチームの課題を設定し、その解決に向けての練習を工夫する。 ・個人やチームの能力に応じて作戦を立て、持っている能力を最大限活用してゲームを行う。 ・ゲームの企画や運営、審判を行う。				球技Ⅲ	
11	8		②	⑤	11月下旬	球技Ⅳ	
12	2	2学期のまとめ					
1	6	球技Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳから選択					
2	6	・チームにおける自分の役割を自覚して行動し、責任を果たし、協力して教え合ったり助け合ったりしながら、楽しんで練習やゲームができる。 ・勝敗に対して公正な態度をとることができる。 ・安全を確かめ、危険なプレーをしないなど、健康・安全に留意して授業に取り組む。				球技Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳから選択	
3	1	1年間のまとめ					



2025年度 年間教育計画

所属	大和商業高等専修学校	学科	普通科	コース	総合ビジネス	学年・年次	2
教 科	科 目	単位数	標準単位数	担当者			
保健体育	保健	1	1	石川 浩章			
教科書名		出版社	学習書	学習期間			
現代高等保健体育		大修館書店	なし	通年			
レポートの種類	一般レポート	選択レポート	①②③	面接時数	全実施時間数 33 時間		
	報告課題集				標準面接時数 1時間		
定期試験	(年間)・学期 3 回	評定算出方法	100点満点の考查点(60%)+授業ノート・探求(40%)				
定期試験の評価割合	60%						

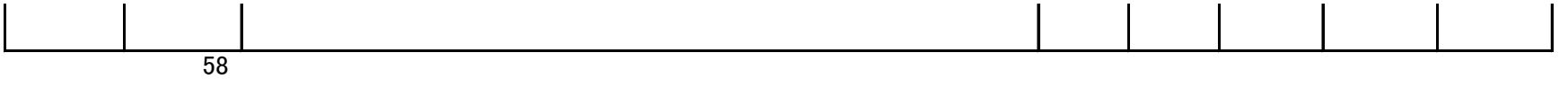
指導目標
・時代の流れの中で変化している、健康自体のとらえ方や、健康のために個人や社会に求められることを理解し、健康を維持する知識を学ぶ。 ・安全を享受するために、事故、災害、犯罪などへの備えや、応急手当の知識や技能を学び、被害を最小限にできる安全な社会づくりについて学ぶ。

月	指導時数	単元・学習内容	レポート指導			試験範囲	備考
			回数	選択番号	提出日		
4	2	1単元 現代社会と健康 1、健康の考え方と成り立ち 2、私たちの健康のすがた					
5	4	1単元 現代社会と健康 3、生活習慣病の予防と回復 4、がんの原因と予防 5、がんの治療と回復 6、運動と健康					
6	4	1単元 現代社会と健康 7、食事と健康 8、休養・睡眠と健康 1学期期末考查 1学期のまとめ	1	①	6月下旬	1単元 1～8	
7	1						
8							
9	4	1単元 現代社会と健康 9、喫煙と健康 10、飲酒と健康 11、薬物乱用と健康 12、精神疾患の特徴					
10	4	1単元 現代社会と健康 13、精神疾患の予防 14、精神疾患からの回復 15、現代の感染症 16、感染症の予防	2	②	10月下旬		
11	4	1単元 現代社会と健康 17、性感染症・エイズとその予防 18、健康に関する意思決定・行動選択 19、健康に関する環境づくり 2単元 安全な社会生活 1、事故の現状と発生要因	3	③	11月下旬		
12	2	2単元 安全な社会生活 2、安全な社会の形成 2学期期末考查				1単元 9～19 2単元 1～2	
1	4	2単元 安全な社会生活 3、交通における安全 4、応急手当の意義とその基本 5、日常的な応急手当 6、心肺蘇生法					
2	3	3単元 生涯を通じる健康 1、ライフステージと健康 2、思春期と健康 学年末考查				1年間の まとめ	
3	1	1年間の復習					

2025年度 年間教育計画

所属	大和商業高等専修学校	学科	普通科	コース	総合ビジネス	学年・年次	2
教 科	科 目	単位数	標準単位数	担当者			
外国語	英語コミュニケーションⅠ	2	3	岩城 真理子			
教科書名		出版社	学習書	学習期間			
All Aboard! English CommunicationⅠ		東京書籍		通年			
レポートの種類	一般レポート	選択レポート	51,53,40,60,55,57	面接時数	全実施時間数 58時間 標準面接時数8時間		
	報告課題集						
定期試験	年間・学期 5回	評定算出方法	試験60% 授業態度40%(ノート、ワーク、問題集、発表等の意欲)				
定期試験の評価割合	60%						
指導目標							
多くの単語をわかるようになるよう、プリント等で練習させる。 文法の基本を理解させて簡単な英作文を自分で作成できるようにする。							

月	指導時数	単元・学習内容	レポート指導			試験範囲	備考
			回数	選択番号	提出日		
4	5	lesson6 受動態を使用して身近なもので英文を作成させる。題材の文章の浮世絵についても調べさせ、見聞を広げさせる。	1	51	5/31	1学期 中間	
5	8	lesson7 比較表現の -er than (よりも) the -est (一番・・・) as・・・as (～と同じくらい)の使いわけができるようにさせる	2	53	6/30	1学期 期末	
6	6						
7	1	1学期のまとめ					
8							
9	7	lesson10 関係代名詞who, whichの使い方について学び、複雑な文の作り方を理解できるようにする。修学旅行前に取り扱うことで題材内容への理解を深めて教育効果を高められるようにする。	3 4	40 60	9/30 10/31	2学期 中間	
10	7						
11	8	lesson8 現在完了形の使用方法、3つの用法を理解させる。ロボットカフェについて扱った題材で、病気・育児・介護等の理由等で外出できない人でも、ロボットを通して社会で活躍する機会を得ることができることを踏まえ、他にもどんなことができるか考えさせる。	5	55	11/30	2学期 期末	
12	1	2学期のまとめ	1				
1	6	lesson9 分詞は動詞の活用形で、形容詞のように名詞を修飾することを学び、現在分詞と過去分詞の違いを理解させる。また、海洋汚染とについて扱った文章を読み、SDGsについて理解を深める。他にも日常でのごみの扱い方等について話し合い、どうあるべきかも考えさせる。	6	57	1/31	学年末	
2	8						
3	1	2年時のまとめ					



2025年度 年間教育計画

所属	大和商業高等専修学校	学科	普通科	コース	総合ビジネス	学年・年次	2
教 科	科 目	単位数	標準単位数	担当者			
家庭科	家庭基礎	2	2	佐藤恵子			
教科書名		出版社	学習書	学習期間			
家庭基礎 気づく力 築く未来		実教出版	家庭基礎学習ノート	1年			
レポートの種類	一般レポート	選択レポート	02, 03, 04, 05	面接時数	全実施時間数 57時間 標準面接時数4時間		
	報告課題集						
定期試験	5回	評定算出方法	定期試験60% 授業課題(ノート、問題集、レポート、実習作品、意欲)40%				
定期試験の評価割合	60%						
指導目標							
人生100年時代と言われるが、誰とどう生きたいか、変化していく家庭の中で家族って何だろうと考えながら、自分の未来のライフステージをデザインしてみる。目標設定し、自立するための知識、技術、情報を積極的に身につける。							

月	指導時数	単元・学習内容	レポート指導			試験範囲	備考
			回数	選択番号	提出日		
4	5	1章 これからの人生について 2章 自分らしい生き方と家族 人生100年時代と言われるが、誰とどう生きたいか考える。	1	22-45-02	5月末		
5	6	3章 子どもとかかわる 子どもの特徴、生活、遊びを知る。自分の子どもの時の遊びを出し合う。 子どものための社会福祉を知り、さらにどんな支援があったらよいか。	2	22-45-03	6月末	中間試験 1, 2, 3章	
6	8	4章 高齢者とかかわる 高齢者の特徴、現状と課題を知る。高齢社会をささえる仕組みを知り、自分にできることを考える。	3	22-45-04	9月末	期末試験	
7	2	5章 共生社会を生きる	4	22-45-05	10月末	3, 4, 5章	
9	6	6章 食生活をつくる 日本の食文化を学ぶ。自分の食生活を振り返り、何をどれだけ食べた らよいかを知る。 食品の安全性を知り、これからの食生活を考え、調理の基本を身につける。					
10	8	7章 衣生活をつくる 制服を題材に人と衣服のかかわり、衣服の素材の特徴、管理、手入れを学ぶ。 持続可能な衣生活を考える。				中間試験 6章	
11	8	衣服実習 衣服管理に必要な技術を身に着ける。					
12	2	6章 正月料理について学ぶ。				期末試験 7章	
1	5	8章 住生活をつくる 平面図を読み取る。日本の住生活の現状と共生可能な住まいを考える。 減災に取り組む。 6章 調理実習 2時間の調理実習を楽しむ。					
2	6	9章 消費行動を考える 10章 経済的に自立する 18歳成人。新しい投資システムを学ぶ。				期末試験 8, 9,10章	
3	1	復習					

2025年度 学習指導計画(連携科目)

所 属	大和商業高等専修学校						
学 科	普通科		コース	情報ビジネスコース・福祉ビジネスコース		学年・年次	2学年
科目名	ビジネスコミュニケーション	単位数	2	教科書	秘書検定3級パーフェクトマスター改訂版	出版社	実務技能検定協会

月	指 導 内 容		指導時数 70h	試 験	備 考
	ページ	項 目・内 容			
4	11 ～ 26	第1章 必要とされる資質 1. 秘書の心構え 2. 秘書に求められる能力と守秘義務	5		
5	27 ～ 46	第2章 職務知識 1. 秘書の機能と役割 2. 秘書の職務	8	5月26日 ～ 5月29日	
6	自作 プリント	電卓検定演習 ・机間巡視を行い、正しい指運びを徹底させる。 ・級や種目によって計算手順やセクターの位置が変わることを都度、確認させる。 ・模擬問題を活用して、各目標級の練習を繰り返し行う	9	6月23日 ～ 6月27日	
7		1学期の復習	2		
8					
9	47 ～ 74	第3章 一般知識 1. 企業の基礎知識 2. 企業組織の活動 3. 社会常識	9		
10	75 ～ 144	第4章 マナー・接遇 1. 人間関係と話し方・聞き方 2. 話し方と聞き方の応用 3. 敬語と接遇用語 4. 電話応対 5. 来客応対 6. 交際業務	8	10月14日 ～ 10月17日	
11	145 ～ 225	第5章 技能 1. 会議における秘書の役割 2. ビジネス文書の作成 3. 文書の取り扱い 4. 文書・資料管理 5. 日程管理 6. 環境整備	9		
12		2学期の復習	4	12月1日 ～ 12月5日	
1	自作 プリント	秘書検定演習 模擬問題を繰り返し解かせる。 2月の検定で3級取得を目指す。	7		
2	自作 プリント	復習・振り返り	7	2月16日 ～ 2月20日	
3			2		

《留意事項》

全経電卓計算能力検定の各目標級取得を目指す。

秘書検定3級取得を目標として、企業の仕組みや専門用語、慶弔時のマナー、敬語などを正しく理解し、人柄育成を目指す。

(3年では、英語など他のビジネスコミュニケーションの内容にも触れるよう作成してください。)(R.5.9.15県教員より指摘)

2025年度 学習指導計画(連携科目)

所 属	大和商業高等専修学校						
学 科	普通科		コース	総合ビジネス		学年・年次	2
科目名	簿記	単位数	3	教科書	簿記	出版社	TAC

月	指 導 内 容		指導時数	試 験	備 考
	ページ	項 目・内 容	105h		
4		1年次の総復習	8		
5	P.290 ～	第27章 クレジット売掛金と電子記録債権・電子記録債務 1. クレジット売掛金 2. 電子記録債権・電子記録債務	11	5月26日 ～ 5月29日	
6	P.297 ～	第28章 特殊な手形の取引 1. 手形の書き換え 2. 手形の不渡り 3. 保証債務 4. 営業外受取手形 第29章 本支店会計 1. 本支店会計 2. 本支店間の取引 3. 本支店取引の記帳	12	6月23日 ～ 6月27日	
7		第27章～第29章 まとめ	5		
8					
9	P.316 ～	第30章 本支店会計 1. 本支店会計合併財務諸表 2. 本支店会計財務諸表の作成手順 3. 合併後の貸借対照表と損益計算書	13		
10	P.326 ～	第31章 1. 株式会社とは 2. 株式会社の純資産 3. 設立時の株式発行 4. 増資時の株式発行 5. 当期純利益の繰越利益剰余金勘定への振り替え 6. 剰余金の配当と処分	12	10月14日 ～ 10月17日	
11		簿記検定対策	15		
12		第27章～第31章 まとめ	4	12月1日 ～ 12月5日	
1	P.346 ～	第32章 株式会社の税金 1. 株式会社の税金 簿記検定対策	10		
2		簿記検定対策	12	2月16日 ～ 2月20日	
3		まとめ	3		

《留意事項》

2025年度 学習指導計画(連携科目)

所 属	大和商業高等専修学校					
学 科	普通科	コース	総合ビジネス		学年・年次	2
科目名	ビジネス基礎	単位数	2	教科書	ビジネス基礎	出版社 東京法令出版

月	指 導 内 容		指導時数 70h	試 験	備 考
	ページ	項 目・内 容			
4	P.96 ～105	第3章第5節 流通宇ks集うとマーケティング 1.マーケティングの意義 2.流通活動とマーケティング 3.マーケティングの考え方 トレード・オフと機会費用 食糧問題とビジネス	4		
5	P.106 ～118	第4章 第1節企業活動の基礎 第2節資金調達 1.経営理念 1.資金の概念 2.企業の出資者 2.資金調達に有利な「会社」形態 3.企業の種類 3.資金調達の源泉別分類 4.企業の経営組織	6	5月26日 ～ 5月29日	
6	P.120 ～144	第3節ビジネス担当者 1.ビジネス担当者 2.メーカーのビジネス 3.物流のビジネス～13.金融機関のビジネス14.サービス業者のビジネス 第4節企業活動と税 1.企業活動にかかわる税 2.申告と納付	8	6月23日 ～ 6月27日	
7	P.146 ～155	第5節雇用 1.雇用形態 2.雇用に伴う企業責任 BOPビジネス NPO	7		
8		1学期まとめ	1		
9	P.160 ～174	第5章ビジネスと売買取引 第1節売買取引の方法 1.売買契約 第2節金決済の方法 1.通貨～	7		
10	P.176 ～183	3.為替手形～ 第3節電子商取引と代金決済 1.電子商取引のしくみと分類	7	10月14日 ～ 10月17日	
11	P.184 ～189	第4節ビジネス計算の基礎 1.度量衡 2.外国貨幣の計算 3.割合に関する計算	9		
12		2学期まとめ	2	12月1日 ～ 12月5日	
1	P.190 ～198	第4節ビジネス計算の基礎 4.割増しに関する計算 5.割引に関する計算 6.商品の数量と代金の計算	7		
2	P. 202 ～217	第4節ビジネス計算の基礎 7仕入原価.に関する計算 8.販売価格に関する計算 9.売買損益の計算 10.利息の計算 電子手形	6	2月16日 ～ 2月20日	
3					

《留意事項》

2025年度 学習指導計画(連携科目)

所 属	大和商業高等専修学校						
学 科	普通科		コース	総合ビジネス		学年・年次	2
科目名	ソフトウェア活用	単位数	2	教科書	日本語ワープロ模擬問題集準2級・2級	出版社	日本情報処理検定協会
月	指 導 内 容				指導時数	試 験	備 考
	ページ	項 目・内 容			70h		
4		・ビジネスに活用される用語等学ぶ			5		
5		(2級検定問題) ・毎回入力文字数を記録させ、レベルを把握させる ・キーボードの正しい指の配置について再確認させる ・繰り返し問題を解かせ、構成要素を理解させる ・各自の苦手分野(速度・文章作成)を多く時間をとる様にさせ克服を図る ・セル結合・インデントの使い方・きりとり線の作成方法の確認			9	5月26日 ～ 5月29日	
6					8	6月23日 ～ 6月27日	
7		1学期の復習			1		
8							
9		・機器の機能について学ぶ ・情報技術の進歩に伴う通信手段の変化について学ぶ			10		
10		文書デザイン検定 (3級検定問題・2級検定問題) ・模擬問題を活用し、フォントサイズの変更方法と画像挿入練習をさせる ・テキストボックスの設定の仕方等を理解させる ・模擬問題を活用し複数の画像処理、表の加工、図形の書式設定、文字加工、画像編集、文の縦書き、ルビ等練習 ・模擬問題を何度も解かせ検定合格レベルを目指す			10	10月14日 ～ 10月17日	
11					8		
12					3	12月1日 ～ 12月5日	
1		・情報技術の進歩や情報が現代の社会に及ぼす影響を考えさせる ・情報に対する企業や個人にかかる責任について考えさせる 文書デザイン検定 (1級検定問題)			7		
2					7	2月16日 ～ 2月20日	
3		3学期の復習			2		

《留意事項》

2025年度 学習指導計画(連携科目)

所 属	大和商業高等専修学校					
学 科	普通科		コース	総合ビジネス	学年・年次	2
科目名	課題研究	単位数	1	一般常識 & SPI	出版社	実教出版
月	指 導 内 容			指導時数	試 験	備 考
	ページ	項 目・内 容		35h		
4	P.4～5、 38～39	漢字の読み書き①～②、日本地理①～②		2	毎授業 において テストを 実施	
5	P.6～11、 40～45	漢字の読み書き③～⑧、日本地理③～④、世界地理①～④		4	毎授業 において テストを 実施	
6	P.12～17、 46～51、	漢字の読み書き⑨～⑫同字異読語の読み①～②、日本史①～④、世界史①～②		4	毎授業 において テストを 実施	
7		復習		1	毎授業 において テストを 実施	
8						
9	P.18～23、 52～57	読みにくい漢字①～②、同音異義語の書き取り①～②、同訓異義語の書き取り①～②、政治①～④、国際政治①～②		5	毎授業 において テストを 実施	
10	P.24～29、 58～63	同義語・対義語①～②、ことわざ・故事成語①～②、四字熟語①～②、社会問題①～④、経済①～②		4	毎授業 において テストを 実施	
11	P.30～37、 64～71	四字熟語③～④、慣用表現・単位・陰暦の呼称、敬語表現・手紙の書き方、文学史①～②、芥川賞・植木賞・ノーベル賞・ベストセラーなど、金融・財政①～②、企業・経営①～②、国際経済①～②、思想・宗教①～②、		5	毎授業 において テストを 実施	
12		復習		1		
1		復習		4	毎授業 において テストを 実施	
2		復習		4	毎授業 において テストを 実施	
3		復習		1		

《留意事項》

2025年度 学習指導計画(連携科目)

所 属	大和商業高等専修学校						
学 科	普通科		コース	総合ビジネス		学年・年次	2
科目名	情報処理	単位数	2	教科書	情報処理検定(表計算)模擬問題集、プリント	出版社	日本情報処理検定協会
月	指 導 内 容				指導時数	試 験	備 考
	ページ	項 目・内 容			70h		
4	情報処理技能検定(表計算)問題集準2・2級	判断文、絶対参照、構成比率の計算、最大値・最小値(MAX,MIN)、端数処理(切り捨て、切り上げ、四捨五入)、順位付け(RANK)、通貨単位(¥・\$)、日付表示、多重判断文(入れ子(ネスト))、並び替え(ソート)			5		
5					8	5月26日 ～ 5月29日	
6					9	6月23日 ～ 6月27日	
7					2		
8							
9	情報処理技能検定(表計算)問題集準2・2級	2級の内容(準2級の内容、Vlookup、ネスト、時刻計算、グラフ作成)			9		
10	プリント	3級出題(グラフの作成、画面切り替え、アニメーションの応用)			8	10月14日 ～ 10月17日	
11					9		
12					4	12月1日 ～ 12月5日	
1	プレゼンテーション1・2級問題集	2級出題(グラフの作成、画面切り替え、アニメーションの応用)			7		
2					7	2月16日 ～ 2月20日	
3					2		

《留意事項》

2025年度 学習指導計画(連携科目)

所 属	大和商業高等専修学校						
学 科	普通科		コース	総合ビジネス		学年・年次	2
科目名	総合的な探究の時間	単位数	1	教科書		出版社	
月	指 導 内 容				指導時数	試 験	備 考
	ページ	項 目・内 容			35 h		
4		・総合的な探究の時間の目的を理解する。学習のスケジュールや概要を把握する。 ・ペットボトルのお茶のラベルデザインは商業教科「マーケティング」や「商品開発」の1つのフェーズであることを認識させる。			2		
5		・外部正業を招き、講演会を実施。 ・パッケージデザイン及び成分のデザインの事例をもとにプロジェクトへの取り組み方や チームで取り組む際のルールを説明し、チームでプロジェクトに取り組む心構えを持つ。 ・完済するために必要な役割とそれに必要な能力を把握し、各クラス4グループ作成			3		
6		・コンセプト案の絞り込みと対象者のニーズを明らかにするためのアンケートを作成する。 ・アンケートで使用する文言や質問数、選択肢数など、注意点を事前に伝える。 ・アンケート内容を確認し、GoogleFormsでアンケートを作成する。 ・質問の種類や回答方法などの設定に間違いがないか確認をする。			4		
7		・リサーチの結果を把握し、コンセプト案の絞り込みや対象者のニーズを明らかにする。 ・リサーチの結果から得た情報を整理し、今後のクリエイティブの制作に役立てられるようにまとめておく。 ・コンセプトの確定と今後のクリエイティブ制作やプレゼン準備の担当者を決め			3		
8					0		夏期休暇
9		・各グループでコンセプトを確定し、それを元にデザイン制作に取り組むことを確認する。 ・ラベルデザインの事前学習として、デザインやカラーイメージ、効能について具体的な事例から学びを得る。			4		
10					4		
11		・ラベルデザインの講演で学んだポイントを確認し、クリエイティブの制作をする。 ・自分が担当するタスクに主体性を持って取り組む。同時にグループ内の意見も受け入れて改善していく、協働する姿勢を養う。			3		
12					3		
1		・プレゼン資料はグループで作成したラベルデザインのコンセプトやネーミング、効能などについて、自分たちのアイデアと調査結果などを用いて説得力のあるスライドを作成する。 ・クリエイティブ制作は最終段階とし、細かいところまで完成できるよう取り組ませる。			3		
2		・本校体育館にて、全12グループがプレゼンのリハーサルを行う。発声、立ち振る舞い、プレゼン資料の会場での見え方など、本番前の最終チェックを行う。			3		
3		・体育館にて、全12グループがプレゼンを行う。グループが制作したクリエイティブについて、制作におけるアイデアやヒントとなったアンケート結果をグラフや文章で表現して説明する。最も評価されたグループは、次年度の学校行事で配布するペットボトルのお茶のオリジナルラベルとして採用する			3		

《留意事項》

2025年度 年間教育計画

所属	大和商業高等専修学校	学科	普通科	コース	情報ビジネス・福祉ビジネス		学年・年次	3
教 科	科 目	単位数	標準単位数		担当者			
国語	文学国語	2	2		福島 靖宏			
教科書名		出版社	学習書		学習期間			
標準 文学国語		第一学習社	なし		通年			
レポートの種類	一般レポート	選択レポート	1.9.7.2.6.8		面接時数	全実施時間数 70時間		
	報告課題集					標準面接時数 2時間		
定期試験	年間・学期 回	評定算出方法	100点満点の考查点(60%)+出欠席・提出物点・授業点(40%)					
定期試験の評価割合								
指導目標								
(1)情景の豊かさや信条の機微を表す語句の量を増し、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにする。 (2)文体の特徴や修辞の働きなどを考慮して、読み手を引き付ける独創的な文章になるよう工夫する。								

月	指導時数	単元・学習内容	レポート指導			試験範囲	備考
			回数	選択 番号	提出日		
4	5	調律師のるみ子さん ・簡潔にまとめた短編小説の読解を通じて、小説を読む基礎力を要請させる。	1	1	5月末	1学期中間	
5	10	ころ ・リズムと音感に注意して、繰り返し音読する。 ・詩の中に織り込まれた、世界認識の方法や枠組みを学ぶ。 ・文学史上の位置づけ、時代状況、文化的背景を学び取らせる。	2	9	6月末		
6	8	旅する本 ・短編小説の特色を理解し、本との再会を繰り返すたびに実感される「私」の変化を読み取る。 ・文学的な文章の種類や特徴について理解を深める。	3	7	6月末		
7	1	1学期まとめ					
8							
9	8	食事 ・比喩の構造や視点の転換を考察し、題名を意識しながら詩が提示するメッセージを考える。 ・発想の転換の持つ力を学ばせる。	4	2	9月末	2学期中間	
10	10	わたしが一番きれいだったとき ・詩の構成の意図を考え、過去と後半生に対する「わたし」の心情をつかみ、詩の主題を理解する。 ・「きれいだ」と「美しい」という意味のよく似ている言葉を作者はどのような考えや思いで使い分けたのかを考えることで、詩を読み深めていく。	5	6	10月末		
11	9	清兵衛と瓢箪 ・清兵衛と大人たちの瓢箪に対する考えの違いを通して、価値判断や評価について考えを深める。 ・作品の構成と人物描写を読む楽しむという事項を中心に設定し、生徒の感想を具体的な表現に転換していくことの重要性に気づかせる。	6	8	11月末	2学期期末	
12	2	期末考査 2学期まとめ					
1	2	1年間の総復習 まとめ					
2							
3							

2025年度 年間教育計画

所属	大和商業高等専修学校	学科	普通科	コース	情報ビジネス・福祉ビジネス		学年・年次	3年
教 科	科 目	単位数	標準単位数		担当者			
地理歴史	日本史A	2	2		宇野 潔			
教科書名		出版社	学習書		学習期間			
新歴史総合		第一学習社	なし		通年			
レポートの種類	一般レポート	選択レポート	1・2・3・4・5・6		面接時数	全実施時間数 60 時間 標準面接時数 2時間		
	報告課題集							
定期試験	年間・学期 5 回	評定算出方法	100点満点の考查点(60%) + 平常点(40%)					
定期試験の評価割合	60%							
指導目標								
世界と日本を広く相互的な視野から捉えて、近現代の歴史を理解させる。 現代の諸課題と近現代史との結びつきを考察させる。								

月	指導時数	単元・学習内容	レポート指導			試験範囲	備考
			回数	選択 番号	提出日		
4	5	第2部 近現代の世界と日本 第1章 近代化と私たち 第1節 18世紀のアジアの繁栄 1 清が東アジアに君臨した 2 東アジアは熟成期をむかえた 第2部 工業化の進展と国民国家の建設 1 砂糖入り紅茶とキャラコに魅せられて				1学期中間	
5	10	2 国産化が世界をつくり変える 3 人々の政府を自らつくる 4 政治は国民のために 5 自由主義とナショナリズムが広まった 6 イギリスの影響力が世界におよんだ 7 イギリスに追いつき、追いこせ 中間試験	1	1	5月末		
6	8	8 アメリカは内乱を経て国民統合をはたした 第3節 結びつく世界と日本の開国 1 ヨーロッパがもたらした衝撃 2 南アジア・東南アジアの落日 3 清と日本が開港をせまられた 4 清と日本は外圧に対応した 期末考查	2	2	6月末		
7	1	1学期まとめ				1学期期末	
8							
9	8	5 日本の国境・領土が定まった 6 日本も立憲国家となった 第4節 帝国主義とアジア諸国の変容 1 「可能なら、惑星をも併合したい」 2 日本は、初の大規模な対外戦争をおこした 3 日露戦争に世界が注目した 4 韓国は植民地となり、清は倒れた	3	3	9月末	2学期中間	
10	10	5 糸がささえた産業革命 6 何のために学ぶのか 第2章 国際秩序の変化や大衆化と私たち 第1章 第一次世界大戦と大衆社会 1 すべてが戦争に巻きこまれた 中間試験 2 世界初の社会主義国家が誕生した 3 世界は国際協調を模索した 4 第一次世界大戦がアジアにもたらしたもの 5 朝鮮・中国の民衆が立ちあがった	4	4	10月末		
11	9	6 空前の繁栄の光と陰 7 大衆が政治を動かしかじはじめた 第2章 経済危機と第二次世界大戦 1 恐慌の嵐が吹き荒れる 2 大衆は新たな勢力に期待をかけた 3 日本と中国の対立が深まった 4 世界は戦争の道を歩みはじめた 5 ふたたび世界大戦がはじまった	5	5	11月末	2学期期末	
12	2	期末考查					

12	4	2学期まとめ					
1	2	6 戦争が終わった	6	6	1月末	3学期期末	
2							
3							

2025年度 年間教育計画

所属	大和商業高等専修学校	学科	普通科	コース	情報ビジネス・福祉ビジネス	学年・年次	3
教 科	科 目	単位数	標準単位数		担当者		
数学	数学 I	2	2		橘川 慶太郎・友森達也		
教科書名		出版社	学習書		学習期間		
数学 I Standard		東京書籍	なし		通年		
レポートの種類	一般レポート	選択レポート	24 26 27 37 38 40		面接時数	全実施時間数 70 時間	
	報告課題集					標準面接時数 2 時間	
定期試験	年間・学期 5 回	評定算出方法	100点満点の考查点(60%)+提出物点・授業点(40%)				
定期試験の評価割合	60%						
指導目標							
・それぞれの単元の中での基本的なものを中心に復習をしていくことで基礎的な数学の知識、技術を身につける。 ・定理や公式をただ覚えるだけでなく、どのように成り立っているのかを説明し、理解させることで論理的思考を養う。							

月	指導時数	単元・学習内容	レポート指導			試験範囲	備考	
			回数	選択 番号	提出日			
4	4	3章 2次関数 1節 2次関数とそのグラフ ・2次関数				1学期中間		
5	7	3章 2次関数 ・2次関数の最大・最小 ・2次関数の決定	1・2	24・26	5月下旬			
6	7	3章 2次方程式と2次不等式 2節 2次方程式と2次不等式 ・2次方程式 ・2次関数のグラフとx軸の共有点 ・2次関数のグラフとx軸の共有点の個数 ・2次不等式	3	27	6月下旬			1学期期末
7	1				7月下旬			
8	0	夏休み課題						
9	5	4章 図形と計量 2節 三角比の拡張 1節 鋭角の三角比 ・直角三角形と三角比 ・三角比と座標 ・三角比の性質	4	37	9月下旬	2学期中間		
10	8	3節 三角比への応用 ・正弦定理・余弦定理・面積の公式 ・空間図形の計量	5	38	10月下旬			
11	7	5章 データの分析 1節 データの分析 ・データの散らばり ・データの相関	6	40	11月下旬	2学期期末		
12	1	2学期の復習 冬休み課題						
1	2	1年間のまとめ 1年間の復習						
2	0							
3	0							

| | |

| | | | |

2025年度 年間教育計画

所属	大和商業高等専修学校	学科	普通科	コース	情報ビジネス・福祉ビジネス	学年・年次	3
教 科	科 目	単位数	標準単位数	担当者			
理科	生物基礎	2	2	田島 久美子			
教科書名		出版社	学習書	学習期間			
高等学校 新生物基礎		第一学習社	なし	通年			
レポートの種類	一般レポート	選択レポート	2 3 4 5 11 12	面接時数	全実施時間数	70 時間	
	報告課題集				標準面接時数	8 時間	
定期試験	年間・学期 5 回	評定算出方法	100点満点の考查点(60%)+提出物点・授業点(40%)				
定期試験の評価割合	60%						
指導目標							
・身の回りの生物の成り立ちや共通性から、ヒトという生物を詳しく知る ・ミクロな視点から生態系まで、様々な規模で物事を考えることで、科学的な思考力を養う。							

月	指導時数	単元・学習内容	レポート指導			試験範囲	備考
			回数	選択番号	提出日		
4	2	第1章 生物の特徴 第1節 生物の共通性 ・生物に見られる共通性 ・生物の共通性の由来 ・細胞構造の共通性					
5	8	第2節 生物とエネルギー ・エネルギーと代謝 ・代謝とATP ・代謝と酵素 ・光合成と呼吸	1	2	5月下旬	1学期中間	
6	8	第2章 遺伝子とそのはたらき 第1節 遺伝情報とDNA ・染色体・DNA・遺伝子 ・DNAの構造 ・DNAの複製 ・DNAの分配	2	3	6月下旬		
7	7		3	4	7月下旬		
8	2	1学期まとめ 夏休み課題				1学期期末	
9	7	第3章 ヒトのからだの調節 第1節 からだの調節と情報の伝達 ・ホルモンの働き ・血糖濃度の調節 ・体温の調節 ・からだの調節と血液の働き ・恒常性と情報の伝達 ・神経系	4	5	9月下旬	2学期中間	
10	8	第2節 免疫 ・病原体からからだを守るしくみ ・自然免疫 ・獲得免疫のしくみ ・獲得免疫の特徴 ・免疫と疾病 ・免疫と医療	5	11	10月下旬		
11	9	第4章 生物の多様性と生態系 第2節 生態系とその保全 ・生態系 ・生物同士の関係 ・生物同士の関係と種の多様性 ・生態系のバランスと攪乱 ・人間活動による生物の持ち込み ・生息地の破壊 ・生息地の分断化 ・生態系の保全とその意義	6	12	11月下旬	2学期期末	
12	2	2学期の復習 冬休み課題					
1	2	1年間のまとめ 1年間の復習					
2	0						
3	0						

| | |

| | | | | |

2025年度 年間教育計画

所属	大和商業高等専修学校	学科	普通科	コース	情報ビジネスコース・福祉ビジネスコース	学年・年次	3
教 科	科 目	単位数	標準単位数	担当者			
保健体育	体育	2	2	吉田 節子			
教科書名		出版社	学習書	学習期間			
現代高等保健体育		大修館書店		通年			
レポートの種類	一般レポート	選択レポート	⑥、⑦	面接時数	全実施時間数 50 時間 標準面接時数10時間		
	報告課題集						
定期試験	(年間)・学期 5 回	評定算出方法	100点満点の考查点(60%)+授業点(40%)				
定期試験の評価割合	60%						
指導目標							
・各種目を通して身体を動かし、楽しく筋力や持久力を身に付け、健康的な身体をつくる。 ・チームで協力して1つのことを取り組むことにより、協調性を学ばせ、社会に適用できる人間性を身に付けさせる。 ・運動の実践を通して、知識や技能を高めるとともに人間関係を深めさせる。							

月	指導時数	単元・学習内容	レポート指導			試験範囲	備考
			回数	選択 番号	提出日		
4	4	体づくり運動 体育理論 ・運動を通して、自己の体に関心を持ち、自分や仲間の体の状態に気付くことができる。 ・体育を学習する意味を理解し、学習意欲を高める。 ・身体の様々な部位を動かすことで心地よさや楽しさを理解させる。					
5	6	球技Ⅰ：バスケットボール 球技Ⅱ：バドミントン・卓球 ・チームにおける自分の役割を自覚して行動し、責任を果たし、協力して教え合ったり助け合ったりしながら、楽しんで練習やゲームができる。 ・勝敗に対して公正な態度をとることができる。 ・安全を確かめ、危険なプレーをしないなど、健康・安全に留意して授業に取り組む。 ・種目の特性を理解し、個人やチームの能力を把握する。 ・ゲームなどを通して、その種目の楽しさを味わいながら、個人やチームの課題を設定し、その解決に向けての練習を工夫する。 ・個人やチームの能力に応じて作戦を立て、持っている能力を最大限活用してゲームを行う。 ・ゲームの企画や運営、審判を行う。				球技Ⅰ	
6	7		①	⑥	6月下旬	球技Ⅱ	
7	1	1学期のまとめ					
8							
9	8	体づくり運動 体育理論 球技Ⅲ：サッカー、フットサル 球技Ⅳ：バレーボール					
10	8	・個人的技能や集団の技能を高め、自分やチームの能力に応じたゲームができる。 ・チームにおける自分の役割を自覚して行動し、責任を果たし、協力して教え合ったり助け合ったりしながら、楽しんで練習やゲームができる。 ・勝敗に対して公正な態度をとることができる。 ・安全を確かめ、危険なプレーをしないなど、健康・安全に留意して授業に取り組む。 ・種目の特性を理解し、個人やチームの能力を把握する。 ・ゲームなどを通して、その種目の楽しさを味わいながら、個人やチームの課題を設定し、その解決に向けての練習を工夫する。 ・個人やチームの能力に応じて作戦を立て、持っている能力を最大限活用してゲームを行う。 ・ゲームの企画や運営、審判を行う。				球技Ⅲ	
11	9		②	⑦	11月下旬		
12	2	2学期まとめ				球技Ⅳ	
1	2	球技Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳから選択					
2		・チームにおける自分の役割を自覚して行動し、責任を果たし、協力して教え合ったり助け合ったりしながら、楽しんで練習やゲームができる。 ・勝敗に対して公正な態度をとることができる。 ・安全を確かめ、危険なプレーをしないなど、健康・安全に留意して授業に取り組む。					
3		1年間のまとめ					



2025年度 年間教育計画

所属	大和商業高等専修学校	学科	普通科	コース	情報ビジネスコース・福祉ビジネスコース	学年・年次	3
教科	科目	単位数	標準単位数	担当者			
保健体育	保健	1	1	吉田 節子			
教科書名		出版社	学習書	学習期間			
現代高等保健体育		大修館書店	なし	通年			
レポートの種類	一般レポート	選択レポート	⑥⑦⑨	面接時数	全実施時間数 25 時間		
	報告課題集				標準面接時数 1時間		
定期試験	年間・学期 3 回	評定算出方法	100点満点の考查点(60%)+授業ノート・探求(40%)				
定期試験の評価割合	60%						
指導目標							
<p>・思春期から中高年期までの健康にかかわることがらについて学ぶとともに、私たちの健康を支えている保健・医療のしくみやその活用のしかたを学ぶ。</p> <p>・私たちを取り巻く自然環境やそれを良好に維持するしくみを理解し、環境・食品の問題や、働くことと健康の関係などを学ぶ。</p>							

月	指導時数	単元・学習内容	レポート指導			試験範囲	備考
			回数	選択番号	提出日		
4	2	3単元 生涯を通じる健康 1、ライフステージと健康 2、思春期と健康					
5	3	3、性意識と性行動の選択 4、妊娠・出産と健康 5、避妊法と人工妊娠中絶					
6	4	6、結婚生活と健康 7、中高年期と健康 8、働くことと健康 1学期期末考査	1	⑦	6月下旬	3単元 1～8	
7	1	1学期の復習					
8							
9	4	9、労働災害と健康 10、健康的な職業生活 2単元 安全な社会生活 1、事故の現状と発生要因 2、安全な社会の形成 3、交通における安全 4、応急手当の意義とその基本					
10	4	5、日常的な応急手当 6、心肺蘇生法 4単元 健康を支える環境づくり 1、大気汚染と健康 2、水質汚濁・土壌汚染と健康 3、環境と健康にかかわる対策	2	⑥	10月下旬		
11	3	4、ごみの処理と上下水道の整備 5、食品の安全性 6、食品衛生にかかわる活動	3	⑨	11月下旬		
12	2	2学期期末考査 2学期の復習				3単元 9～10 2単元 1～6 4単元 1～6	
1	2	7、保健サービスとその活用 8、医療サービスとその活用 1年間のまとめ				1年間の まとめ	
2							
3							

2025年度 年間教育計画

所 属	大和商業高等専修学校	学 科	普通科	コ ー ス	情報ビジネスコース・福祉ビジネスコース	学 年・年 次	3学年
教 科	科 目	単 位 数	標準単位数		担 当 者		
芸術科	書道Ⅰ	2	2		丸山 恵里加		
教科書名		出版社	学習書		学習期間		
書道Ⅰ		光村図書			通年		
レポートの種類	一般レポート	選択レポート	123456		面接時数	全実施時間数 70時間	
	報告課題集					標準面接時数 8時間	
定期試験	年間・学期 0 回	評定算出方法	作品提出物(60%)、授業点(40%)				
定期試験の評価割合	なし						
指導目標							
書道の基本的な用筆・運筆の技能を身につけ、線質・字形や構成を生かした自己表現が出来るようにする。							

月	指導時数	単元・学習内容	レポート指導			試験範囲	備考
			回数	選択番号	提出日		
4	6	☆書の基本 ①書写から書道へ(書写の確認、文房四宝、姿勢・執筆法) ②漢字の書(漢字の成立と変遷、古典臨書「九成宮醴泉銘」)	1	1	4月下旬		
5	8	楷書・行書の基本知識と書風の相違を知り、古典によつての筆遣いを習得 ①楷書・行書の基本用筆・結構法 ②古典臨書(蘭亭序「清風」、風信帖「恵風」)	2 3	2 3	5月中旬 5月下旬		
6	8	☆篆刻(篆書から篆刻へ)・・・自分の落款印制作 ①篆書の基本用筆を学び、古典臨書(細字作品) ②篆刻の手順(検字・印稿・印面整備・布字・運刀・補刀・側款)を理解 ③印泥の使い方・押し方					
7	8	☆漢字の書(楷書)・・・作品制作 ①今まで臨書した作品から、半紙～半切～半切二分の一作品制作 ②神奈川県教育書道コンクール作品選出					
8		夏休み					
9	8	☆陶芸皿の制作 ①言葉探し～文字構成 ②陰刻・陽刻でスクラッチ ③彫もれを確認し提出					
10	8	☆仮名の書 仮名の特徴と歴史を知り、筆使いを習得 ①仮名の成立 ②仮名の基本用筆・仮名の美(連綿、変体仮名、散らし書き) ③古典臨書(「蓬萊切」) ①仮名の成立 ②仮名の基本用筆・仮名の美(連綿、変体仮名、散らし書き) ③古典臨書(「蓬萊切」)					
			4	4	10月中旬		
11	4	☆実用書道(生活の中の書) 手紙のマナーを知り、正しく美しい手紙・ハガキを書く ①手紙の書き方(便箋の書式等) ②封筒・ハガキの表書き	5	5	11月上旬		
	4	☆漢字仮名交じりの書 谷川俊太郎「ありがとう」を読み解き、色紙に制作 ①言葉探し～文字構成 ②半紙作品～半切二分の一作品制作	6		11月下旬		
12	2	③色紙作品制作 ・墨色を確認し、オリジナル色紙の制作 ・今まで学習制作した言葉から、ピックアップして構成から仕上げへ ・落款印押印					
1	2	☆書初め					

		・四字熟語から言葉を選び、半死から半切二分の一に作品制作					
		・落款印を押印し提出～作品鑑賞					

2025年度 年間教育計画

所 属	大和商業高等専修学校							
学 科	普通科		コース	情報ビジネスコース・福祉ビジネスコース		学年・年次	3	
科目名	総合的な探究の時間	単位数	1	教科書	なし	出版社	なし	
月	指 導 内 容				指導時数	試 験	備 考	
	ページ	項 目・内 容			h			
4		ポートフォリオの作成 就職・進学ガイダンスの事前学習と事後学習 面接練習に向けての準備				4		
5						3		
6						5		
7		面接練習に向けての準備 面接練習 エントリーシート、履歴書等の書類作成				4		
8								
9		面接練習 エントリーシート、履歴書等の書類作成 入学試験・就職試験の振り返りと報告書の作成				5		
10						4		
11						3		
12						3		
1		入学試験・就職試験の振り返りと報告書の作成				2		
2						2		
3								

《留意事項》

2025年度 学習指導計画(連携科目)

所 属	大和商業高等専修学校						
学 科	普通科		コース	情報ビジネスコース・福祉ビジネスコース		学年・年次	3
科目名	ビジネス・コミュニケーション	単位数	2	教科書	ジャパンタイムズ社説集2024 講師作成教材	出版社	the Japan times 出版

月	指 導 内 容		指導時数	試 験	備 考
	ページ	項 目・内 容			
4		Japan timesの社説を活用して、世界の時事問題を英語を通じて読み解いていく。 世界で起こった事象について内容理解を深めるとともに、英語のフィルターを通じて見た世界の時事問題について、自分の意見を述べるができるようにする。	6		
5			10	5月26日 ～ 5月29日	
6			8	6月23日 ～ 6月27日	
7			5		
8					
9		Japan timesの社説を活用して、日本の時事問題について内容理解を深めるとともに、英語のフィルターを通じて見た日本国内の問題等について自分の意見を述べるができるようにする。	10		
10			10	10月14日 ～ 10月17日	
11			13		
12			6	12月1日 ～ 12月5日	
1		1年間の総復習として、自らが気になる日本国内外に関係する時事問題について、自分の意見を述べるができるようにする。	2		
2					
3					

《留意事項》

毎回、帯活動として英文スピーチの視写と、ユニバーサルミュージック社提供の「UM English Lab.」を用いたリスニング練習を行う

2025年度 学習指導計画(連携科目)

所 属	大和商業高等専修学校							
学 科	普通科		コース	情報ビジネスコース・福祉ビジネスコース		学年・年次	3	
科目名	簿記	単位数	2	教科書	簿記	出版社	TAC	
月	指 導 内 容					指導時数	試 験	備 考
	ページ	項 目・内 容				70h		
4		日商簿記検定3級 1(1)仕訳の解き方を覚える (2)模擬問題				6		
5		日商簿記検定3級 2(1)決算問題の解き方を覚える (2)模擬問題				10	5月26日 ～ 5月29日	
6		日商簿記検定3級 3(1)試算表の仕組みと解き方を覚える (2)模擬問題				10	6月23日 ～ 6月27日	
7		1学期の復習				4		
8								
9		日商簿記検定3級 4(1)帳票の解き方を覚える (2)模擬問題				10		
10		日商簿記検定3級 過去問題				10	10月14日 ～ 10月17日	
11		日商簿記検定3級 過去問題				13		
12		2学期の復習				4	12月1日 ～ 12月5日	
1		1年間の総まとめ				3		
2								
3								

《留意事項》

2025年度 学習指導計画(連携科目)

所 属	大和商業高等専修学校							
学 科	普通科		コース	情報ビジネスコース・福祉ビジネスコース		学年・年次	3	
科目名	課題研究	単位数	1	教科書	マイロード21	出版社	実教出版	
月	指 導 内 容					指導時数	試 験	備 考
	ページ	項 目・内 容				35h		
4	P8～P45	1～16 職業観・何をやりたいか・業種・適正と職業選択 志望先決定に向けて(企業研究・志望先を選ぶ・エントリーシート記入方法・公務員)				3		
5						5		
6	P46～P79 P118～P124 P2～P6	17～31 入社試験・履歴書・応募書類・面接試験 作文・SPI・一般常識等 巻末 (完璧な就職活動に向けて) 会社訪問・面接、マナー				5	期末考査 6月23日 ～ 6月27日	
7						3		
8								
9	P95～P105 P125	41～48 内定後の対応 職場・電話対応 ビジネス文書 '就職試験用問題を解く				4		
10						5		
11	P106～P116 P126～P131	49～54 ビジネス文書・給与明細の中身としくみ 小切手・約束手形の基礎知識・法律に基づいた会社事務 時事用語問題 就職試験用問題を解く				5		
12						3	期末考査 12月1日 ～ 12月5日	
1						2	1月17日 ～ 1月24日	
2								
3								

《留意事項》

2025年度 学習指導計画(連携科目)

所 属	大和商業高等専修学校						
学 科	普通科		コース	情報ビジネスコース・福祉ビジネスコース		学年・年次	3
科目名	情報処理	単位数	3	教科書	模擬問題集	出版社	日本情報処理検定協会
月	指 導 内 容				指導時数	試 験	備 考
	ページ	項 目・内 容			105h		
4	情報処理 検定準1 級	・IF関数の復習 ・AND関数の復習 ・OR関数の復習 ・VLOOKUP関数の復習 ・グラフの挿入			9		
5	情報処理 検定1級	・LEFT関数・RIGHT関数・CONCATENATE関数・SUM関数・抽出			15	中間考査 5月26日 ～ 5月29日	
6	情報処理 検定1級	・ 文字列操作関数(LEFT・RIGHT・CONCATENATEなど) ・ 特殊関数(ABSなど) ・ 抽出および抽出後のデータ処理(合計・平均・ソート) ・ データベース関数の応用			15	期末考査 6月23日 ～ 6月27日	
7	情報処理 検定1級	・DAVERAGE関数・DCOUNT関数・DMAX関数・DMIN関数			8		
8							
9	情報処理 検定1級	・検定対策			15		
10	情報処理 検定1級	・検定対策			15	中間考査 10月14日 ～ 10月17日	
11	情報処理 検定初段	・ シート間の処理・高度なグラフ・複数のグラフ・その他応用			18		
12	情報処理 検定1級	・検定対策			5	期末考査 12月1日 ～ 12月5日	
1	情報処理 検定1級	・検定対策			5		
2							
3							

《留意事項》